

六甲山地の土砂災害対策の取り組みを紹介

～JICA「道路・橋梁維持管理行政コース」研修～

～近畿地方整備局 六甲砂防事務所～

独立行政法人 国際協力機構 (JICA) が行っている研修の一環として、フィリピン国の土木関係者が六甲砂防事務所に来訪されました。

六甲山地での砂防事業の取り組みについての説明を行い、砂防えん堤や斜面对策の現場などを案内しました。

概要

日時：平成26年7月9日(水)

9:00～11:00

場所：六甲砂防事務所、渦ヶ森地区
斜面对策(石屋川上流)など

主催：JICA 参加人数：3名

○砂防えん堤や斜面对策について

六甲山地で実施している、砂防えん堤の整備や斜面对策の取り組みについて説明しました。研修員の方は、フィリピンにはコンクリート製でない砂防えん堤が多いので、耐久性を

考えてコンクリート製の施設を増やしていきたいとのことでした。

また、斜面の対策に興味を持たれておられたことから、渦ヶ森地区と渦森台地区の斜面对策の現場を案内しました。急傾斜の場所はコンクリートフレームで、緩傾斜の場所ではワイヤーネットで斜面を固定させるなど、地形条件によって工法を変えて、なるべく樹木を残すように配慮して対策を行っていることを説明しました。



住吉川の説明



焼ヶ原えん堤



渦ヶ森地区斜面对策



渦森台斜面对策

【お問合せ先】

国土交通省 近畿地方整備局
六甲砂防事務所 調査課

〒658-0052 神戸市東灘区住吉東町3-13-15
TEL：078-851-0535

